

令和4年第1回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和4年1月31日（月） 午後2時00分開会
- 2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
学校教育課長 和気一夫  
中央公民館長 鷹箸正  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題
- (1) 提出議案
- 議案第1号 日光市奨学金の貸付者について  
議案第2号 日光市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について
- (2) 報告事項
- ①教育長からの報告  
②事務局からの報告  
ア 日光市今市文化会館の指定管理者の指定について
- (3) 教育委員からの提案事項
- (4) その他
- ①次会開催予定

日時：令和4年2月25日（金）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和4年3月31日（木）午後1時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後2時00分、開会を宣言し、本日の会議は新型コロナウイルス感染症対策として、議案提出課以外の職員の出席は見合わせている旨告げた。

会議録の署名人に、高井・手塚両委員を選任した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第1号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」13名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第1号は、原案どおり承認した。

#### 【教育長】

議案第2号 日光市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「日光市教育委員会公印規程の一部を改正する規程の制定について」押印廃止により事務効率化を図るための改正であることを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第2号は、原案

どおり承認した。

### 日程第三 報告事項

#### ①教育長からの報告

##### 【教育長】

##### 【報告要旨】

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・令和4年1月11日 市内小中学校第3学期のスタート
- ・令和3年12月23日 大桑小・小百小交流学习について
- ・県立高校特色選抜試験について
- ・いじめ調査結果報告について（令和3年11月分）
- ・学校を休みがちな児童生徒調査報告について（令和3年11月分）
- ・若杉学級運営状況報告について（令和3年12月分）
- ・各種コンテスト等の表彰について

教職員関係

- ・新型コロナウイルス感染状況について
- ・文部科学大臣表彰の受賞について
- ・教職員人事異動事務の進捗状況について
- ・校長との期末面談について

その他

- ・チャリティーゴルフ寄付金贈呈式について
- ・JA上都賀から市内全小中学校へのイチゴの贈呈について

##### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

##### 【委員】

学校を休みがちな児童生徒調査報告にあった、登校していない理由に親子の関わりとあるが、具体的にどういう事案か。

##### 【学校教育課副参事】

これは、調査項目にいくつか選択肢があり、そこで選択されていたものを集計したもので、具体的には分からないのだが、調査員からの報告では、親子関係がうまくいっていないとか、親があまり教育に対して前向きでなく、登校に対しても積極的ではないなど、いろいろな要因が出ている。

##### 【教育長】

他にも理由はあるが、親子の関わり方がうまくいっていないというものも含め、結構件数が出てきている。

そのほか質疑を求めた。

### 【委員】

数字を出してもらい良く分かったことなのだが、いじめ調査報告の発見のきっかけについて、中学校の場合は担任がずっと一緒ではないので仕方がない部分もあると思うが、担任や担任以外の教職員、養護教諭による発見がゼロというのが、問題というか、寂しいところである。もう少し触れ合うとか、様子が分かるとか、発見まで至らずとも教職員が生徒の態度から、少し様子がおかしいなどと気付けるような関係を持ってほしいと感じた。

### 【教育長】

委員の言うとおりであるが、発見のきっかけも、複数が関わりあって発見されているということもあると思う。確かに担任や養護教諭が発見のきっかけになるというのは、対応をスムーズにする上では効果的であることから、子供と教員の信頼関係を更に深めていくことも必要だと思う。担任に相談や発言しやすい環境や人間関係作りは今後も重要だと思うので、そうしたところについては、教育委員会側から働きかけていきたい。

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

## ②事務局からの報告

### 【中央公民館長】

#### 【報告要旨】

・日光市今市文化会館の指定管理者の指定について、令和4年4月1日から令和7年3月31日までの指定管理者について報告した。

### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

## 日程第四 教育委員からの提案事項

### 【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

### 【委員】

成人式に参加したので報告したい。感染対策もあり準備等大変だったと思うが、きちんとした成人式が実施されていた。一つ気になった点だが、車椅子の成人者がおり、ステージの両脇が階段のため、写真撮影の際にどこからも車椅子でステージに上がれず、まず車椅子を壇上に上げ、そのあと晴着の成人者を皆で抱えて上げていた。施設の問題であり運営に関することではないのだが、どこか一箇所スロープがあれば上がれると思うので、障害者の利用に関する配慮について、今後施設の形について話があったときは検討してもらえればと思った。

### 【中央公民館長】

今市文化会館については、昭和52年に運用が始まり、かなり老朽化している。当時としては最新のデザインや機能を備えていたが、現在は様々な部分で不都合が生じている。今後文化会館の方向性を検討していくことになっているので、その中でもそうした機能に

についても検討することになると思うので、参考にしていきたい。

**【教育次長】**

新しい施設がどのような形になるかは未知数だが、バリアフリーについては当たり前  
に備えねばならない機能なので、当然そういった配慮がされた内容になると思う。ただ、現  
在の今市文化会館については、そういう基準を全く満たしておらず、エレベーターさえも  
ない施設なので、車椅子を利用する場合は、1階から入り、両脇の入口から一番手前の車  
椅子スペースへ行くしかない。車椅子だけではなく、高齢者が壇上に上がるのにも、階段  
が危険な状態であったので、取外しのできる手すりを付けるなど、現状ではその程度のと  
ころまでしかハード面で対応できていないため、何かの際は人を使って、上がったたり下り  
たりの手助けをするような対応しかできないのが現状である。

**【教育長】**

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

・令和3年度の日光市小学生氷上体育大会について、新型コロナウイルス感染症の影響  
により中止する旨を報告した。

**【教育長】**

次会の会議は、令和4年2月25日（金）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階  
202会議室、3月の会議は令和4年3月31日（木）、午後1時00分から日光市役所本  
庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後2時30分閉会

令和4年第2回日光市教育委員会会議録

- 1 日 時 令和4年2月25日（金） 午後1時58分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
 出席委員 委員 高井孝美  
 委員 手塚美智雄  
 委員 池田由美子  
 委員 藤本亮純  
 委員 速水茂希
- 4 説明員 教育次長 鈴木伊之  
 学校教育課長 和気一夫  
 生涯学習課長 佐藤育宏  
 文化財課長 福田昌浩  
 スポーツ振興課長 鶴見英明  
 日光公民館長 常盤紀生  
 学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子  
 生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長 佐藤剛  
 生涯学習課文化振興係長 杉山美千子
- 5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則
- 6 議 題
- (1) 提出議案
- 議案第3号 日光市立小中学校教職員定期異動内申について
- 議案第4号 日光市奨学金の貸付者について
- 議案第5号 令和3年度（令和2年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書について
- (2) 報告事項
- ①教育長からの報告
- ②事務局からの報告

- ア 教育委員会予定表について
- イ 令和4年度学校教育の重点推進項目等について
- ウ 第2期日光市生涯学習推進計画後期基本計画（原案）に係るパブリックコメント等の結果について
- エ 第4期日光市読書活動推進計画（原案）について
- オ 令和4年度日光市学校運営協議会実施要項について
- カ 令和4年度日光市地域学校協働活動推進事業実施要項について
- キ 日光市スポーツ推進計画改訂版（原案）に係るパブリックコメントの結果について

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

#### ①次会開催予定

日時：令和4年3月31日（木）午後1時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和4年4月21日（木）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後1時58分、開会を宣言し、本日の会議は新型コロナウイルス感染症対策として、議案提出課以外の職員の出席は見合わせている旨告げた。

会議録の署名人に、手塚・池田両委員を選任した。

#### 日程第一 前会会議録の承認

### 【教育長】

前会会議録を確認し承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

#### 日程第二 審議事項

### 【教育長】

議案第3号 日光市立小中学校教職員定期異動内申についてを議題とした。

なお、本議案は人事案件のため秘密会とした。

**【教育長】**

議案第4号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市奨学金の貸付者について」10名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第4号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第5号 令和3年度（令和2年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「令和3年度（令和2年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書について」令和2年度に日光市教育委員会が実施した事業のなかから選定した5事業（英検助成事業、人権尊重啓発標語・ポスター募集事業、ふるさと日光学、世界遺産保護対策事業、競技スポーツ団体支援事業）について、3名の外部点検・評価委員が評価した結果と、他の事業についての所管課による自己点検結果について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた

**【委員】**

英検助成事業について、申請事務手続きは保護者が行っているのか、学校が行っているのか。併せて、評価委員の意見の中にあつた実地研修について、夏休みに実施をしたいと回答しているが、全生徒に対して英語を使った実地研修を、夏休み中に特別に時間を設けて行うというのは、先生方や子供たちの負担とならないか。総合的な学習の時間を使い、そういった体験をしても良いのではないのか。

**【学校教育課副参事】**

事務手続については、年1回半額を助成するというので、保護者が学校に英検の申込と一緒に提出している。その際は半額を支払い、学校からは助成申請をした人数や級を市に提出してもらっている。英検協会からは、補助分をまとめた請求が市に送られるので、市がそれを支払うという流れになっている。

二つ目の夏休みの実地研修について、コロナ禍以前は市でイングリッシュセミナーという事業を実施しており、希望する児童生徒に夏休み中に参加してもらい、小学校高学年から中学生に対しては東照宮周辺で観光案内を行ってもらおうというものがあった。我々とし



ては、そのようなものをイメージしているのだが、総合的な学習の時間で実施している学校もあるので、そういう各学校の取組を推進していくと共に、市でも希望する子供達にコロナ禍前と同様に取り組んでいきたいと考えている。

【教育長】

実地研修については、教員の負担はないということによいか。

【学校教育課副参事】

それは我々の事業としては考えていない。

【教育長】

そのほか質疑を求めた。

【委員】

競技スポーツ団体支援事業の評価の結果について、評価が割れた場合、これからの展望はどのようなものになるのか。

【スポーツ振興課長】

評価について、現行のままが一人、廃止すべきが一人、無回答が一人ということであった。現行のまま継続という委員については、5年で目標を達成しているが、いきなり全額を減額するのはどうかという意見であった。廃止すべきという委員については、5年で目標も達成しているので廃止しても良いのではないかとというようなことであった。無回答の委員については、委員自身がスポーツ協会の会長を務めており、立場上無回答ということであった。今後の方策で述べたとおり、やはり他競技との公平性や、補助金の既得権化等の課題があるため、補助金交付開始から5年が経過し、安定したチーム運営も確保できているため、補助対象者と協議し、今後のチーム運営を考慮しながら、補助金の削除をはじめ、交付期間の見直し、交付廃止等を検討していきたいと考えている。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第5号は、原案どおり承認した。

### 日程第三 報告事項

#### ①教育長からの報告

【教育長】

【報告要旨】

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・ 県立高校入学試験日程について
- ・ 市内小中学校卒業式日程について
- ・ いじめ調査結果報告について（令和3年12月分）
- ・ 学校を休みがちな児童生徒調査報告について（令和3年12月分）
- ・ 全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果について

## 教職員関係

- ・教職員異動関係日程について
- ・教職員退職辞令交付式並びに感謝状伝達式、教職員人事異動発令式について

## その他

- ・令和4年度学級数・児童生徒・教職員見込み数について

## 市長部局関係

- ・2月定例議会教育委員会関係一般質問について
- ・令和4年度施政方針について

### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

## ②事務局からの報告

### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

- ・教育委員会予定表について、令和4年度の教育委員会会議の日程等を報告した。

### 【学校教育課副参事】

#### 【報告要旨】

- ・令和4年度学校教育の重点項目等について、第3次日光市学校教育基本計画実施計画（令和4年度）を用いて来年度実施事業の内容を報告した。

### 【生涯学習課長】

#### 【報告要旨】

- ・第2期日光市生涯学習推進計画後期基本計画（原案）に係るパブリックコメント等の結果について報告した。
- ・第4期日光市読書活動推進計画（原案）について、読書活動を推進するための目標を定めて取り組んでいく旨報告した。
- ・令和4年度日光市学校運営協議会実施要項について、及び令和4年度日光市地域学校協働活動推進事業実施要項について、令和5年度からの本格導入に先立ち、令和4年度に市内10校で先行導入するための規定である旨報告した。

### 【スポーツ振興課長】

#### 【報告要旨】

- ・日光市スポーツ推進計画改訂版（原案）に係るパブリックコメントの結果について報告した。

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

読書活動推進計画について、日光市では児童生徒にタブレットが行き渡っていると思うのだが、そのタブレットで電子書籍の閲覧は可能なのか。

**【生涯学習課長】**

電子図書館にIDとパスワードで入ることができれば、通常のパソコン同様、電子書籍を閲覧することはできる。

**【学校教育課長】**

ハードとしてはiPadだが、児童生徒が使うということで、かなり厳しいセキュリティをかけているので、IDとパスワードの登録ができるかどうかの確認が必要なため、本件については説明を差し控えたい。ただ、内容を聞くと、児童生徒にとっても有用なものなので、閲覧できるよう検討したい。今すぐできるかどうかという点については確認を要するので、後ほど説明したい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

学校教育基本計画実施計画について、確かな学力の育成として、小学校高学年の教科担任制の段階的实施というものがあるが、多分、今の段階では中学校の英語教員が小学校の英語専科教員として小学校に配置される、という形で実施されるのかと思うのだが、中学校の英語教諭もそんなに余裕がないなか、新年度どれぐらいの小学校に教科担任制の英語教員が配置されるのか、今後どれぐらいで小学校の教科担任制が可能になるのか。採用は市ではどうにもならないと思うのだが、特別支援教室の教員が特別選考枠で採用されるのと同様に、例えば英語の小学校の英語専科教員が特別選考枠で採用されるというような話が出ているのか確認してもらいたい。

**【学校教育課副参事】**

まず、小学校の英語専科について、現在1名配置されており、来年度も1名配置される予定である。来年度は学校の規模等に応じて可能な範囲で教科担任制に取り組んでもらえるようお願いしており、中学校の教員が行くということではなく、小学校の教員で国語、英語というように受け持ってもらい、中学校と同じような仕組みで、それぞれ同じ授業を繰り返し行ってもらう予定である。今年度パイロット校として南原小学校で取り組んでおり、ある程度成果も上がり、できるということが実証されたので、同様の仕組みで依頼している。来年度は段階的に、学校の実態に応じた取組ということで、現在、担当が学校を訪問し、時間割の指導や可能な範囲の検討を行っている。また、小学校の特別選考については、既に実施されている。小学校の中で英語が得意な教員を増やしていくという試みとして、そういう枠で新採が何名か配置されているので、今後そういう者が英語専科教員として担っていくような流れかと感じている。

### 【教育長】

文科省でも予算確保はされており、増員という数字は出ているが、各市町にどれだけ回ってくるのかは分からない。

そのほか質疑を求めた。

### 【委員】

読書活動推進計画について、電子図書館の更なる整備が必要とあるが、先ほど委員からも意見があったとおり、子供達にタブレットが割り振られているのだから、電子図書館を自動的にそこから見られるようにすれば良いと思う。今は自分で図書館でID登録ということだと思うので、最初からIDを割り振って登録してしまい、そこから電子図書館も見られようにすれば、とても親しみやすいと思う。わざわざ図書館に行って自分でID発行するというのは、本が好きな子はやっているのかもしれないが、なかなかやらないと思う。今の子はパソコンやスマホを使うのが大好きなので、最初から入っていれば、そこから自分で見に行くと思う。もし本当に読書をする人を増やしたいのだったら、最初からアプリ的なものを入れてしまうというのも一つの手かと思う。

もう1点、図書貸出に関する成果指標の現状値について、括弧で令和元年の数値がここだけわざわざ入っているのだが、これは令和2年の目標値に対して現状値が下がっているのが、コロナの影響であるということが分かるように入れているのか。

### 【学校教育課長】

アプリの導入については、学校よりも家庭で、例えば夏休みや冬休み、休日に持ち帰っての使用が主になってくると思うのだが、現在家庭にタブレットを持ち帰って使う場合の通信環境の整備が課題になっているのは以前から伝えているとおりである。今回の定例会の中で予算案が議決されないと確実なことは言えないのだが、来年度は経済的な問題で家庭のインターネット環境が整っていない家庭に対する、機器類の貸出しを予算要求しているので、こうしたものの整備と抱き合わせで、アプリ導入や電子図書館の活用も、生涯学習課と学校教育課でタイアップしながら一緒に検討していきたい。

### 【生涯学習課長】

2点目については委員の言うとおり、令和2年度はコロナの関係で下がってしまったが、元年度にはこれだけの値があったということで入れている。

### 【教育長】

そのほか質疑を求めた。

### 【委員】

学校教育基本計画実施計画にある、英語教育と教員の養成に関連することなのだが、学校の統合がどんどん進んでいく中で、先ほど教員免許の取得に関する話や、英語教育をする教員の養成の課題というのは聞いたのだが、子供にどのように教えるかという前に、どのように教員を育てるかということが課題だと思う。こうしたところにALTという言葉が全然出てこないのだが、現在のALTの人数は、教える対象に対して全然カバーしきれおらず、各学校を回っても、本当に頻度も少なく、生の英語に触れる機会も少ないという

現状なので、多分、ALTの派遣は外部委託だと思うので、これをもっと増員すれば、教員も教わることができるし、子供達も英語に触れる機会が増えると思うのだが、ALTの活用についてはどうなっているか。

**【学校教育課副参事】**

ALTについては市の直接雇用と委託があるが、来年度は全て市の直接雇用ということで、人数は変わらず12名で考えている。委託の者が何名か市に移ってきたものだが、市で直接雇うことで、より柔軟な活用ができると考えている。今後学級数が減っていくということで、減員という話も昨年度から出ていたのだが、市で英語教育に力を入れていくということで、来年度は現状維持となっている。今後の学級数や生徒数の関係で、週に1回または2回の実数は今のところ確保しているが、更なる機会創出と、学校での活用手法についても助言しながら、委員提案のように、もう少し効果的な活用の仕方を、現状維持のなかでも検討していきたい。

**【委員】**

増員どころではなくて、現状維持が今のところやっとなんていうことか。

**【教育長】**

現状、週2回くらいは行けている。また、小学校の教員もここ数年でだいぶ英語教育については力を付けてきていて、最初はかなり抵抗があったというか、指導ができないという声もあったが、今もそういう気持ちはあるかもしれないが、かなり教員の指導というのは定着してきている、自然に英語の授業が実践されていると、訪問した際にも感じている。

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

地域学校協働活動について、要項では中学校区ごとに学校協働本部を置くとなっているのだが、例えば私の地元の栗山小中学校は来年の3月で閉校するが、新たな中学校区では距離的に対応は不可能かと思うので、対処の仕方はどうなのか。

**【生涯学習課課長補佐】**

栗山小中学校の場合、閉校後の児童生徒は鬼怒川小学校、もしくは藤原中学校に通うことになるが、鬼怒川小学校には地域協議会、協働本部があり、それで活動してもらい、藤原中学校にも協議会と協働本部があるという、最初はそういうイメージなのだが、将来的には藤原中と鬼怒川小で一つの協働本部、協議会は別になるが、そうした感じで進んでいければと考えている。ただ、地域によって事情もあり、栗山では距離的なものがあるということで、いろいろ課題はあると思うのだが、令和4年度中に研究しながら進めていきたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

読書活動推進計画について、資料にある学校図書館ボランティアの活動内容は、ほとんど読み聞かせが中心だと思う。10年ぐらい前のことなので間違いがあれば訂正してもら

いたい。この計画の内容から外れてしまうのかもしれないが、学校図書館の運営を考えると、1学期に購入する本を決め、夏休みの間に担当の先生一人か二人で200冊ぐらいの受入れ準備をし、冬休みに残った予算で数十冊の受け入れをしている。図書館事務は集中して行うこともあり、かなり大変な作業になるが、学校によってシステムや運用もまちまちなので、図書館事務の経験があっても、異動先では全然異なる対応をしなくてはならない。以前総合教育会議の席で、市立図書館の職員の応援をしてもらえないかと話をさせてもらったことがあるのだが、図書館ボランティアの活動内容とは別になると思うのだが、実際に学校で図書館を担当している先生から、図書館の運用事務に対して、市で肩代わりしてもらいたいといった要望はないのか。

**【学校教育課長】**

学校教育課では、今のところ学校現場からそういった声は聞いてはいない。

**【委員】**

学校側から要望があれば、そういった内容は検討できる内容か、それとも無理なのか。図書館事務も無くなったとすれば先生方は助かると思うのだが。

**【生涯学習課文化振興係長】**

今の委員の質問は、学校と図書館との連携ということでよいか。

**【委員】**

以前、総合教育会議の時に、学校でも専門的な知識がない先生もいるため、図書館との連携ということで、アドバイスや、事務的な面で手伝ってもらえるかという話をさせてもらった。返事はなかったのだが、検討してもらえているかと思っていたのだが。

**【生涯学習課文化振興係長】**

計画でも学校と図書館との連携ということで、家庭、地域、図書館、学校との連携体制の強化を掲げており、今も図書館は学校から来た要望に対してそれぞれ答えていると思う。具体的にこちらには詳しい話が来ていないので何とも言えないのだが、具体的な取組に挙げたとおり、今後も学校と図書館による購入図書選定への協力など、より密に体制を強化して進めていきたい。

**【委員】**

学校の先生達がどう思っているのか分からず、自分としての希望に対する現状を聞いただけなので、検討してもらえればありがたい。

**【教育次長】**

市の図書館については、日光、今市、藤原、それぞれ指定管理業務であり、市の職員は誰もいない。指定管理ということは、5年間や3年間といった契約を結び、図書館業務等にあたってもらい、業務に対し市からいわば委託料のような形で管理費を支出するのが基本にあり、指定管理を受けた会社のほうで、独自業務としてどの程度のことができるかというところは、随時調整しながら進めていくことになる。そのなかで、学校図書館との連携というか、運営の手伝いということに近いのかと思われるが、そこまでの余力があるのかは担当課でも見えていないので具体的な回答は難しいと思うが、計画にもあるように、

連携を強化していくという流れなので、そこは学校図書館がどの程度人が足りていないのか、困っていることがあれば、どの程度できるのかは分からないが、連携を深めていく流れになるのかと思う。ただ、それが限度を超えたものになるとすれば、やはりそれに対する対価というのは市として払わないといけないので、その辺の問題も出てくるだろう。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

質問ではなく意見になるが、教員が異動する度に自分のやらなくてはならない仕事が変わってしまい、得意分野があったとしても、異動先では新しい仕事を極めなくてはならないという話が以前にもあったと思う。そうした事でももう少し上の大きなネットワークを生かせないかと思う。自分が県の教育委員会連合会に参加していつも無力感を感じるのは、協議でも理想があるのだが改善されず、ずっと同じことを繰り返して形骸化している。やはり誰か、熱意のある人に引っ張ってってもらわないと、多分、いろいろなことが改善しないと思う。例えば、理想がありこうしたいから、このように努力しますということを毎年ここで点検して発表してくれるのだが、補助金も繰越金があるくらいだから見直しも考えられるといっても、これが次の年度に実際にどのように話し合いがされ、改善されるかについて、ここで議論した私達はその結果が分からない。毎年いろいろな問題に対して、検討して対応していると聞くのだが、あまり大きな進展がない気がする。もう少し教育委員会にいる意味があるような、私達の声を現実化していけるような突破口がないかずっと思っていたのだが、このようにしたいけどどうなったかというバトンを渡すことがあまりされていない気がする。毎年同じような感じなので、何か良い方法はないだろうか。

**【教育長】**

先ほどの事務点検評価については、次年度に向けて事業を検討するうえで、これまで実施してきた事業の評価をしっかりと検証し、その中でも重点的な課題をきちんと捉えて、それに対してどういう手を打っていくかということを検討しながら、大きな変化はないかもしれないが、積上げていきたいと思う。先ほど副参事から来年度の重点推進項目について説明があったが、あれなどは大きな流れは変わらないが、具体的なものとしてはとても大きなものをやろうということ提案しているものなので、そういう検証、評価をしながら、次年度に向けて積重ねていきたい。教育というのは、個人的には大きくがらりと変わるといってはあまり効果的ではないと思う。教育は小さなことを地道に積上げていったうえで成果を上げていくもので、すぐ来年度に成果が確認できるものもあれば、すぐにはできなくて、何年かかけて積上げていったものが、どうなったかという評価をするというものもあるので、そういうところが教育の難しさと重要なところなのかと思う。大きなことを開拓するというよりも、一つ一つ課題を積上げていって、その実績でいろいろなものが変わっていく、あるいはいろいろな成果が確認できる。ひいては子供たちの健全な成長や、日光市が狙っている子供の育成というところにつなげていくということになると思うのだが、そういうところが教育の難しさと同時に醍醐味なのだと思う。その中で特に今必要なもの

とか、これから必要な課題が何かということを常に検討しながら進めていると思うので、そういったところを今の委員の意見にあったように、積上げていきたいと思っている。

**【委員】**

今の委員の意見なども、私の思ったことでもあったので、ありがたいことであるのだが、例えば学校教育基本計画の中に、校務システム導入準備というものがあったと思う。以前私のほうから、学校で行っている事務的なことは、どこの学校でもしていることだが、学校が変わってしまうと全然やり方が違ってしまいうので、もっと効率化が図れないかという話をしたこともあった。システム導入により、まず、成績処理と保険関係のことが一括で統一されると思うので、ここから始めて更にいろいろなことに広げていってほしい。結局は変えることなので、現場の先生も混乱することもあるかと思うが、ゆくゆくは日光市内だけでも、どこの学校に行っても同じ事務なら同じことができるような、そんなシステムの構築というものを、これで終わりではなくて、これから始めてどんどん広げていってもらえればと思う。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育次長】**

**【報告要旨】**

・とちぎ国体冬季大会の開催実績、教育委員の交代、新型コロナウイルス感染症の市内小中学校での発生状況、市長の施政方針における教育分野に関する内容について報告した。

**【教育長】**

次会の会議は、令和4年3月31日（木）、午後1時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室、4月の会議は令和4年4月21日（木）、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後3時53分閉会



1 日 時 令和4年3月31日（木） 午後12時57分開会

2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希

4 説明員 学校教育課長 和気一夫  
生涯学習課長 佐藤育宏  
文化財課長 福田昌浩  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 山本洋一  
中央公民館長 鷹箸正  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 齊藤光伸  
栗山公民館長 小松正明  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子  
生涯学習課課長補佐兼生涯学習係長 佐藤剛  
文化財課課長補佐兼文化財保護係長 新家守

5 書記 学校教育課教育総務係長 湯澤智則

6 議 題

(1) 提出議案

議案第6号 日光市奨学金の貸付者について

議案第7号 日光市教育委員会事務局組織等規則の一部を改正する規則の制定について

議案第8号 日光市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について

議案第9号 日光市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について

- 議案第10号 日光市家庭学習のための通信機器貸与事業実施要綱の制定について  
議案第11号 個人演説会等開催のための施設の整備の程度及び公職の候補者等が納付すべき費用額について  
議案第12号 令和4年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について  
議案第13号 日光市教育委員会表彰規則及び日光市少年指導センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について  
議案第14号 日光市文化財保護審議会委員の委嘱について  
議案第15号 日光市文化財専門調査委員会委員の委嘱について  
議案第16号 日光市スポーツ推進委員の委嘱について

## (2) 報告事項

### ①教育長からの報告

### ②事務局からの報告

- ア 日光市立学校設置条例の一部改正について  
イ 日光市スクールバス運行条例の一部改正について  
ウ 日光市奨学金貸付条例の一部改正について  
エ 第3次日光市学校教育基本計画の一部見直しについて  
オ 日光市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について  
カ 日光市高畑運動広場条例の停止に関する条例の制定について  
キ 令和4(2022)年度日光市歳出予算について  
ク 教育委員会事務局人事異動について

## (3) 教育委員からの提案事項

## (4) その他

### ①次会開催予定

日時：令和4年4月21日(木)午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和4年5月13日(金)午後1時30分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

## 7 会議の概要

### 【教育長】

午後12時57分、開会を宣言し、会議録の署名人に、池田・藤本両委員を指名した。

#### 日程第一 前会会議録の承認

##### 【教育長】

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

#### 日程第二 審議事項

##### 【教育長】

議案第6号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

##### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」39名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

##### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第6号は、原案どおり承認した。

##### 【教育長】

議案第7号 日光市教育委員会事務局組織等規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

##### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「日光市教育委員会事務局組織等規則の一部を改正する規則の制定について」令和4年度組織機構改編による国体推進課の係の変更、また、学校教育課において係の事務分掌の変更や、日光市教育支援センター条例の制定に伴い、所要の改正を行うことを説明した。

##### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第7号は、原案どおり承認した。

##### 【教育長】

議案第8号 日光市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

##### 【学校教育課長】

##### 【説明要旨】

「日光市立小中学校管理規則の一部を改正する規則の制定について」足尾小学校と足

尾中学校の併設に伴い所要の改正を行うことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第8号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第9号 日光市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立小学校及び中学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について」大桑小学校及び小百小学校の統廃合に伴い所要の改正を行うことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第9号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第10号 日光市家庭学習のための通信機器貸与事業実施要綱の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市家庭学習のための通信機器貸与事業実施要綱の制定についてGIGAスクール構想による1人1台端末の活用を図るため、インターネットを利用できる環境が自宅に整備されていない準要保護児童生徒を対象にモバイルルーターを貸与し、通信に係る費用を市が負担するための手続等について定めることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

ルーターの貸与と共に通信費も市が負担するということだが、ギガ制限なし、使用する人も制限がないのか。また、申込書に家庭学習以外には使用しないという項目があるが、確認ができないので、誰が電波を使ってもそれはやむなしということか。

**【学校教育課長】**

通信容量の制限について、当面、月の容量制限5ギガでの契約を考えている。用途によって、足りないという懸念もあるが、学校によっても対応の仕方が異なるため、当面は5ギガで始めたい。容量が足りない場合は、改めて契約の変更等を考える。使用対象者については、ルーターとGIGAスクール構想による1人1台端末を紐付けて、1人1台端末以外がルーターと接続できない設定を見込んでいる。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

予算で、モバイルデータ購入費が計上されているが、その予算で今の小中学生の環境が整っていない対象者を全部まかなえるのか。また、この予算で新年度すぐに環境が整って、実際に子供たちが使えるようになるのか。

**【学校教育課長】**

予算については、65台のモバイルルーターの購入を見込んでいる。一昨年端末を配布した際に、家庭のインターネットの接続環境について詳細な調査を実施した。なお、今回対象になるのが、要保護・準要保護児童で、要保護（生活保護）を受けている児童については、生活保護費に上乗せ支給になることから、生活保護に準じた準要保護世帯を対象としている。また、あくまでも経済的な事情によってインターネットを接続できない家庭に支援を行う目的となり、詳細にアンケート調査の結果を分析し、おおむね65世帯程度が対象になると見込んでいる。不足する場合は、補正等に対応する。

使用開始時期については、改めて対象者を絞り込むという作業が必要になり、御家庭のインターネットの接続環境がどうなっているのか、より詳細な調査等がかかる必要がある。それによって台数等を確定し購入手続をすすめ、夏休み明け、2学期には間に合わせたいと考えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第10号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第11号 個人演説会等開催のための施設の整備の程度及び公職の候補者等が納付すべき費用額についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「個人演説会等開催のための施設の整備の程度及び公職の候補者等が納付すべき費用額について」大桑小学校との統合に伴う小百小学校の閉校、三依小中学校の体育館の建替え、足尾小学校と足尾中学校の併設等により施設の変更が生じることから、従前の告示を廃止し、新たに告示することを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第11号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第12号 令和4年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱についてを議題と

し、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「令和4年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について」を説明した。  
なお、中宮祠小学校・中学校、小来川小学校・中学校の内科の校医については、現在の医師が退職され、後任の決定が4月のため、後任について決定次第、書面による議決を求める旨説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第12号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第13号 日光市教育委員会表彰規則及び日光市少年指導センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市教育委員会表彰規則及び日光市少年指導センター条例施行規則の一部を改正する規則の制定について」少年指導委員の任用について、会計年度任用職員から非常勤の特別職の職員に変更するため、少年指導委員を加える等の改正を行うことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第13号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第14号 日光市文化財保護審議会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市文化財保護審議会委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、定数15名以内に対し10名、任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間になることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

2名の住所が日光市以外になるが、適任者は日光市内にいないということで、他地域から選んでいるのか。この2名の具体的な略歴を教えてください。

**【文化財課長】**

2名については、前任者の推薦を受け、1名は栃木県立博物館の方、もう1名は樹木医の方で、協会の支部長をされている方である。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第14号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第15号 日光市文化財専門調査委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市文化財専門調査委員会委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間になることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第15号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第16号 日光市スポーツ推進委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【スポーツ振興課長】**

**【説明要旨】**

「日光市スポーツ推進委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、地区のバランスを考慮し、市の広報誌などによる公募を行い、定数64名以内に対し48名、任期は令和4年4月1日から令和6年3月31日までの2年間になることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第16号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・小百小学校の閉校記念式典と新年度の日程について
- ・中学校卒業生の進路状況について
- ・いじめ調査結果報告について（令和4年1月分）
- ・学校を休みがちな児童生徒調査報告について（令和4年1月分）

教職員の様子から

- ・令和4年度教職員定期異動の総括について

市長部局関係

- ・2月定例議会の閉会

その他

- ・小学校新入生への寄贈品について

**【教育長】**

報告終了後質疑を求めた。

**【委員】**

中高に進まれる方の進路について、資料はないのか。

**【学校教育長】**

今回の会議までに資料を整理し、提供する。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告について

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

- ・日光市立学校設置条例の一部改正について、大桑小学校と小百小学校の統廃合及び足尾小学校と足尾中学校の併設に伴い所要の改正を行った旨報告した。
- ・日光市スクールバス運行条例の一部改正について、大桑小学校と小百小学校の統廃合に伴うスクールバスの運行範囲に大桑小学校を加える等の改正を行った旨報告した。
- ・日光市奨学金貸付条例の一部改正について、令和4年4月1日に改正民法が施行され、成年年齢が18歳に引き下げられることから、貸付の要件として定めている保護者に関する規定を、貸付を受けようとする者が未成年の場合はその親権者を、成年の場合はその父母又はこれに代わる者とする記載を加える旨報告した。

**【学校教育課副参事】**

**【報告要旨】**

- ・第3次日光市学校教育基本計画の一部見直しについて、今年度の成果と課題等を踏まえ、来年度から一部見直しする旨報告した。



#### 【生涯学習課長】

##### 【報告要旨】

・日光市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について、少年指導委員を特別職非常勤職員に加える等の改正を行った旨報告した。

#### 【スポーツ振興課長】

##### 【報告要旨】

・日光市高畑運動広場条例の停止に関する条例の制定について、民間提案制度による施設の賃貸借を行うため、日光市高畑運動広場条例を停止するための条例を制定した旨報告した。

#### 【学校教育課長】

##### 【報告要旨】

・令和4(2022)年度日光市歳出予算について概要を説明し、次会会議で詳細を説明する旨報告した。  
・令和4年4月1日の教育委員会事務局人事異動について報告した。

##### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

##### 【委員】

奨学金について、毎回審査しているが、収入がある方も申込んでいる。何年か前に、電話で市役所に問い合わせたら、今年度の募集はもう終わりましたと言われて、子供の進学を諦めようと思うという親から相談を受けて、通年で受付けているはずだからもう一回聞いてくださいと伝えた。その後、申込んで無事卒業できたというお話をいただいた。一生懸命審査しても、一般の窓口で条件など周知されていないと、そこで進学の道が絶たれてしまう。周知徹底をもう一度やってほしい。結構裕福な方も申込んでおり、本当に困っている方、申込むまでのハードルが高いと言っている方もいるので、広報や職員への訓示等で徹底してほしい。

##### 【学校教育課長】

日光市の奨学金においては通年募集をしており、予算が不足すれば補正等により必要な方には受けていただくことができるよう進めている。今担当している職員は丁寧に対応をしているが、何か不備があれば御指摘いただきたい。これからも丁寧な対応を図ってきたい。

##### 【齋藤教育長】

そのほか質疑を求めた。

##### 【委員】

奨学金について、最初の趣旨目的としては所得の低い方に使ってもらおうというのが本来の目的だと思う。所得があっても大変な人はいるから別に問題ないと思うが、所得が高い人が借りていて、割合的に所得が低い人が少ないと思う。申請者数やその所得状況の内訳などの何年間かの推移を資料として、一度示してもらおうと、状況が見えてくると思う。

**【学校教育課長】**

年間推移については毎年度決算時期に資料として整えているため、すぐに提供ができる。所得ごとの申請者数は今のところ集計していないため、時間をいただきたいが、所得の上限はあっても下限はないので、所得上限以下であればどなたでも申請が可能である。ただ、所得だけではなくて、その家庭の家族構成によって控除額があるので、一概に所得だけで判断できるものではない。そのため、集計の方法については検討させていただきたい。何らかの資料は用意する。

**【委員】**

学校教育基本計画について、学力検査の目標値で、県や国の平均のプラス5を考えているということだが、テストを作成する場合に難易度から平均点を作成者は考えると思うが、県や国の平均は、作成者から見た平均点として高いのか低いのか。

**【学校教育課副参事】**

教科によるが、60前後ではあるかと思う。実際中身について新しい学習指導要領、思考・判断・表現などを意識して授業をしていけば子供たちには十分解ける内容ではある。教科書中心や、知識・技能中心の指導ではなく、今までやっていないような問題や、いくつかのグラフが組み合わさった問題を解くなどの経験を授業の中でしていれば、そこまで難しくない問題だと認識している。ただ、このような問題を経験せずに初見で受けると、子供たちは難しいと感じる。国や県もこういう問題を解けるのが今求められている力で、というメッセージをかけていて、それがだいたい60くらいである。現場でもそのように意識してテストを作っていると思う。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

**【教育長】**

次会の会議は令和4年4月21日、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会

議室、5月の会議は令和4年5月13日、午後1時30分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後1時56分に閉会

1 日 時 令和4年4月21日(木) 午後2時00分開会

2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 高井孝美  
委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 速水茂希

4 説明員 教育次長 和気一夫  
学校教育課長 伊藤真由美  
生涯学習課長 手塚克英  
文化財課長 本間佳夫  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 高梨一己  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 山本洋一  
栗山公民館長 小松正明  
足尾公民館長 上原晃  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子

5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一

## 6 議 題

### (1) 提出議案

議案第17号 日光市奨学金の貸付者について

### (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和4(2022)年度日光市歳出予算について

イ 令和4年度学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱の書面議決の結果について

③事務局からの資料提供

ア 令和3年度日光市立中学校以外に進学した児童数一覧

イ 奨学金貸付対象者数

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和4年5月13日（金）午後1時30分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和4年6月23日（木）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室 ※第1回総合教育会議終了後

7 会議の概要

【教育長】

午後2時00分、開会を宣言し、藤本委員欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、速水・手塚両委員を指名した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第17号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」20名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第17号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

【教育長】

【報告要旨】

児童生徒の様子から

- ・新年度始業式及び小中学校入学式について
- ・児童生徒の新型コロナウイルス感染状況について
- ・いじめ調査結果報告について（令和4年3月分）
- ・学校を休みがちな児童生徒調査報告について（令和4年3月分）

教職員の様子から

- ・日光市校長会役員組織について
- ・日光市教頭会役員組織について

その他

- ・鹿沼市、日光市教育委員会連合会関係事業日程について
- ・各種委員の委嘱状交付について
- ・栃木県教育委員会連合会の要望事項案について

【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告

【学校教育課長、生涯学習課長、文化財課長、スポーツ振興課長、国体推進課長、中央公民館長】

【報告要旨】

・令和4（2022）年度日光市歳出予算について、各所管課より主要事業と新規事業の内容について報告した。

【学校教育課長】

【報告要旨】

・令和4年度学校医、歯科医、薬剤師の委嘱について、追加議案として、先日、書面議決をお願いした、中宮祠小中学校・小来川小中学校の内科医について、全ての委員からの承認をいただいた旨報告した。

【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

(3) 事務局からの資料提供

【学校教育課長】

【報告要旨】

- ・令和3年度日光市立中学校以外に進学した児童数一覧の資料提供
- ・奨学金貸付対象者数の年間推移の資料提供
- ・奨学金申請者の所得状況がわかる資料を用意しなかった理由として、市の奨学金制度は全てのお子さんの広く学ぶ機会の確保を趣旨としており、所得の確認のみでは、一概に所得の低い方に必要な奨学金が届いているかどうかの判断ができない旨を説明した。

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

所得の低い方に必要な奨学金が届いているかどうかの参考としての申請者の所得状況がわかる資料については、所得だけで判定しないということは理解している。その上で議案資料に所得が掲載されているので、それを仕分けした資料を、一つの目安とするためにお願いした。奨学金について、例えば低所得者でもこういう制度があるから、勉強すれば最終的には大学に行けるということを早い段階で周知しなければいけない。そこで、毎年の周知方法と、奨学金制度をどのように知ったのか、アンケートをお願いしたい。

**【学校教育課長】**

今回の所得別の資料を出せなかったことについて、委員の趣旨と作成した資料がずれてしまうと、誤解を招くおそれがあることから、今回用意できなかった。所得の推計について、もう一度検討させていただきたい。

周知方法について、これは重要だと捉えており、次回お示したい。また、アンケート実施についても、合わせて検討させていただきたい。

**【教育次長】**

補足だが、低所得の方に行き届いているかどうかの判断ができる資料について、単純に所得別の奨学金を受けている人数だと、実際に所得階層別にどの程度の方が割的に受けているのか判断が難しい。資料としては不十分になることから、資料の出し方は少し研究させていただきたい。奨学金について、低所得というよりも所得関係なしに必要な方にどれだけ届いているかを確認したい、という趣旨だと思うので、そういったものが分かるような資料、それとそういった方に届くような周知の方法を研究しながら進めていきたい。

周知方法について、一般的に各学年の中学校や高校学校に資料配布をお願いすると同時にホームページや、以前に委員から提案のあった県内広く高校などにメール等で周知している。委員御提案のとおり早い時期に、例えば受験を控えた3年生ではなくて、もっと早い時期に周知が必要だと思うので、今後考えていきたい。

**【委員】**

所得の件について、低所得の方に行き届いているかどうか、その人にいかに届けるかというのを一生懸命考えていく必要があると思うので、よろしくをお願いしたい。

**【教育長】**

御意見としてしっかり検討していく。

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

##### 【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

#### 日程第五 その他

##### 【教育長】

次会の会議は令和4年5月13日、午後1時30分から日光市役所本庁舎2階202会議室、6月の会議は令和4年6月23日、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室で行うことを確認した。

午後2時52分に閉会



1 日 時 令和4年5月13日（金） 午後1時30分開会

2 場 所 日光市役所本庁舎2階202会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 岸野紗生里

4 説明員 教育次長 和気一夫  
学校教育課長 伊藤真由美  
生涯学習課長 手塚克英  
文化財課長 本間佳夫  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 高梨一己  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 山本洋一  
栗山公民館長 小松正明  
足尾公民館長 上原晃  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子

5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一

## 6 議 題

### (1) 提出議案

議案第18号 日光市奨学金の貸付者について

議案第19号 日光市立小中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について

### (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和4年6月23日（木） 午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室 ※第1回総合教育会議終了後

日時：令和4年7月22日（金）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

7 会議の概要

【教育長】

午後1時30分、開会を宣言し、藤本・速水委員より欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、手塚・池田両委員を指名した。

教育委員会会議の開会に先立ち、岸野紗生里氏が教育委員として、先の市議会定例会において同意され、先ほど、市長から辞令交付を受け、教育委員に任命されたことを報告し、委員より挨拶をいただいた。

また、前任の高井委員が退任したことにより、教育長職務代理者について「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第13条第2項に基づき、手塚美智雄委員を指名した。

日程第一 前会会議録の承認

【教育長】

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第18号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」4名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第18号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第19号 日光市立小中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【スポーツ振興課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立小中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について」足尾小学校と足尾中学校の併設に伴い所要の改正を行うことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第19号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

児童生徒の様子から

- ・ 修学旅行と遠足の実施について
- ・ 教育支援センター学習支援部の運営状況について
- ・ 各種大会の実施状況について

教職員の様子から

- ・ 学校経営指導訪問について（新任校長・教頭対象）
- ・ 日光市教頭会役員組織について

その他

- ・ スポーツ振興課関係、生涯学習課関係の事業について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

教育支援センター等の活動について、非常に充実した教育支援、不登校支援ができているということで感謝しているが、不登校の生徒の1か月2か月先の修学旅行について、部屋割の関係があるから1週間後に行くか行かないか返事が欲しいとか、学年費、教材費等の決算報告が届いたが、頂いていないものがたくさんある、ということがある。

給食費に関しては保護者と相談して、柔軟に対応しているが、学年費、教材費というのは、そのまま集金されており、保護者としては、学校に迷惑をかけているのであまり細かいことまでは学校に言いたくないなど、思っている。

しかし、日常生活の細かなことで結構心を痛めていることがある。学校に対し配慮が行

き届くようお願いしたい。

**【教育長】**

校長会や教頭会などの機会に、不登校児童生徒に対する細かい配慮について、依頼させていただく。

その他質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

・日光市奨学金の周知方法について資料提供  
・日光市奨学金の周知について、新たに生活困窮者の支援を行っている社会福祉課と連携し、対象者を絞った周知を行う旨を説明。

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

今説明いただいた周知方法だと、高校生とかそういう方々に向けたものが主になる。例えば、給食費や定期代の補助の申請を年度初めや小学校の入学式の時にいただく。その時に、配布していれば、それまで経済状況が安定していたけれども急に不安定になってしまった方が、確か小学生の時に日光市の奨学金制度を見た、というきっかけを与えるようなことも必要だと思う。例えば、年度初めだと書類が多く、紛れてしまうので、学力調査の個票が封筒に入って返ってくる際に、手間がかかるが、中学2年生の時に奨学金のプリントも一緒に入れるとか、全体に向けての周知もあっていいのではないかな。

**【学校教育課長】**

中学とか高校だけではなく、更に早い時期ということも想定し検討していく。

**【教育長】**

その他質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和4年6月23日、第1回総合教育会議終了後、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室で行うことを確認した。

午後1時57分に閉会

1 日 時 令和4年6月23日(木) 午後3時35分開会

2 場 所 日光市役所本庁舎3階大会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
 出席委員 委員 手塚美智雄  
 委員 池田由美子  
 委員 藤本亮純  
 委員 速水茂希  
 委員 岸野紗生里

4 説明員 教育次長 和気一夫  
 学校教育課長 伊藤真由美  
 生涯学習課長 手塚克英  
 文化財課長 本間佳夫  
 スポーツ振興課長 鶴見英明  
 国体推進課長 竹澤勢津夫  
 中央公民館長 高梨一己  
 日光公民館長 常盤紀生  
 藤原公民館長 山本洋一  
 足尾公民館長 上原晃  
 学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子

5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一

6 議 題

(1) 提出議案

- 議案第20号 日光市奨学金の貸付者について
- 議案第21号 日光市教育支援委員会委員の委嘱について
- 議案第22号 日光市社会教育委員の委嘱について
- 議案第23号 日光市社会教育地域改善対策集会所運営委員会委員の委嘱について
- 議案第24号 日光市少年指導運営協議会委員の委嘱について
- 議案第25号 日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会委員の委嘱について
- 議案第26号 日光市立小中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の

## 制定について

議案第27号 日光市勤労青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について

### (2) 報告事項

- ①教育長からの報告
- ②事務局からの報告

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

#### ①次会開催予定

日時：令和4年7月22日（金）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和4年8月25日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

## 7 会議の概要

午後3時35分、開会を宣言し、会議録の署名人に、藤本・速水両委員を指名した。

### 日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第20号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

#### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」7名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

#### 【委員】

88番、89番の方は双子だと思う。特別控除額が本人とお互いの兄弟で額が違うとい

うのは計算上のことか。

【学校教育課長】

特別控除額については、本人が67万円、兄弟が116万円である。

【委員】

本人同士が同じで、兄と弟はそれぞれ金額が違うという計算になるのか。

【学校教育課長】

それぞれ特別控除額を計算しており、両方同じ条件になっている。

【教育長】

その他質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第20号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第21号 日光市教育支援委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市教育支援委員会委員の委嘱について」令和4年度の委嘱委員について説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第21号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第22号 日光市社会教育委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【生涯学習課長】

【説明要旨】

「日光市社会教育委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、新任9名、再任10名であり、委嘱期間は7月1日から令和6年6月30日までの2年間になることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第22号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第23号 日光市社会教育地域改善対策集会所運営委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【生涯学習課長】

**【説明要旨】**

「日光市社会教育地域改善対策集会所運営委員会委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、新任1名、再任6名であり、委嘱期間は、7月1日から令和6年6月30日までの2年間になることを説明した。

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

社会教育地域改善対策集会所運営委員会委員と社会教育委員が重複しても特に問題はないのか。

**【生涯学習課長】**

特に問題ない。

**【教育長】**

その他質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第23号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第24号 日光市少年指導運営協議会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市少年指導運営協議会委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、新任6名、再任5名であり、委嘱期間は、7月1日から令和6年6月30日までの2年間になることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第24号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第25号 日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市足尾銅山の世界遺産登録推進検討委員会委員の委嘱について」推薦団体から1名の委員の変更の申出があり、後任委員の任期については、令和4年7月1日から前任の委員の残任期間の令和5年6月30日までとなることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第25号は、原



案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第26号 日光市立小中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【スポーツ振興課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立小中学校施設の開放に関する規則の一部を改正する規則の制定について」大桑小学校及び豊岡中学校の屋内運動場に電子錠を設置したため、開放施設の鍵の管理について、所要の改正を行うことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第26号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第27号 日光市勤労青少年ホーム運営委員会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【中央公民館長】**

**【説明要旨】**

「日光市勤労青少年ホーム運営委員会委員の委嘱について」今回の委嘱は、任期満了によるもので、新任4名、再任5名であり、委嘱期間は、7月1日から令和6年6月30日までの2年間になることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第27号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

児童生徒の様子から

- ・ 修学旅行・遠足と運動会の実施について
- ・ 学校を休みがちな児童生徒調査報告について（令和4年4月分）
- ・ いじめ調査結果報告について（令和4年4月分）
- ・ 教育支援センターの運営状況について

教職員の様子から

- ・学校経営指導訪問について（新任校長・教頭対象）
- ・管理職選考試験願書受付について

#### 市長部局関係

- ・6月定例会について

#### その他

- ・県市町村教育委員会連合会総会について
- ・生涯学習課関係・スポーツ振興課関係の事業について

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

#### （2）事務局からの報告

#### 【生涯学習課長】

#### 【報告要旨】

- ・令和5年日光市はたちの集いについて報告した。

#### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

- ・日光市立小中学校適正配置検討会（豊岡中学校区：轟小学校）の検討結果について報告した。

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

#### 【委員】

轟小学校と大桑小学校の統廃合について、今の段階では統廃合せず、仕切り直しという考え方か。また、今回は合意形成には至らなかったが、「適正配置に向けた基本的な考え方」で示す令和7年までの期間終了を待たず、また検討し始めることがあるということか。

#### 【学校教育課長】

まず、「適正配置に向けた基本的な考え方」については、令和7年までの期間の終了を待たず、見直しが必要と考えている。轟小学校の最後の検討会において、委員から、例えば5年くらい後に再開してはどうかという意見が出た。それに対しては今後の状況を見て再検討という返答をした。

#### 【委員】

現時点でいつ再検討するかは決まっていない、そのうちするかもしれないくらいの感じか。

#### 【教育長】

豊岡中学校区での適正配置について、轟小学校について今回は統廃合しないと一旦結論が出た。「適正配置に向けた基本的な考え方」については、策定当初と状況が大きく変わっている。例えば児童生徒数の減少が想定よりも早いことや、栗山のように小中学校併設というかたちで一旦結論を出したが、結局今年度に小学校が休校となり、今年度末には小学校・中学校が廃校になってしまう例が生じていることなどが挙げられる。そのため、適正配置の検討の考え方そのものを少し見直すこととしている。その見直しの中で轟小学校が対象にあがれば検討を進めていくことになるが、具体的な再検討の時期については、今のところ想定していない。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

奨学金制度の件について提案したい。

今日の総合教育会議にあったが、プッシュ型による情報提供をすることで、奨学金制度の情報がかなり届きやすくなると思う。奨学生の募集要項を見てください、取りに来てください、というよりも、広く全生徒に、または低所得者など必要と思われる方にポイントを当てて、どんどん市から配布することが良いと思う。

**【学校教育課長】**

前回説明のとおり、市が把握している要保護、準要保護の方々に対し周知することも周知方法の一つとして今後検討していきたい。生活困窮者自立支援法に基づく子どもの学習支援事業の利用者は、昨年度では、中学2年生で26人、3年生で31人であった。学習教室の利用者に対し、担当部署と連携し、積極的に周知することを考えている。

**【委員】**

積極的に周知してほしい。学習教室の利用者が、中学2年生で26人、3年生で31人と、対象者全員に対して利用している方がかなり少ないように思える。要保護、準要保護の2、3年生の人数に占める学習教室利用者の割合はどのくらいか。

**【学校教育課長】**

具体的な人数がわかる資料を現在持ち合わせていない。要保護、準要保護世帯の生徒であっても、通常の塾に通っている方もいる。学習教室に通っている方々は、学習意欲の高い方であるので、今回はピンポイントに焦点を当て、周知したい。

**【委員】**

ぜひお願いしたい。ただし、学習教室に来なかった人は漏れてしまう。学習教室に来ない要保護、準要保護の方にも届くように、申請に来たときにもお願いしたい。

**【学校教育課長】**

検討したい。

**【委員】**

GIGA スクール構想の ICT、デジタル図書館の先進的な事例として、県内の矢板市が挙げられる。19年度に学校図書館が3万冊、地域図書館が1万6千冊だったのが、20年度は学校図書館が4万5千冊、地域図書館が2万9千冊、ともなりライブラリーが7千6百冊で、21年度は学校図書館が5万6千冊、地域図書館が3万6千冊、ともなりライブラリーが4万8千冊という、すごい数が読まれている。端末で読めるようにしてどんどん利用させている。これは先進事例だと思うので、調査研究すると良い。

**【学校教育課副参事】**

昨年の教育委員会会議でその話題が出て確認したところ、既に今市第三小学校において取組を実施しており、他の学校にもこの取組について周知をしたところである。取組の推進状況や利用状況については、今後把握したい。

**【委員】**

教育長が報告したいじめの対応の中の、中学生のパソコン、携帯電話等での誹謗中傷について、学校が配布した iPad を使った悪口の書込みなのか、それとも自分たちの LINE などによるものなのか。

**【学校教育課副参事】**

手元に資料がなく把握できていないが、昨年度も同様の指摘があった。学校のタブレットではロイロノートという授業支援アプリを使って、子供たちの学習内容が見られる機能がある。子供たちだけのやりとりについては機能の制限を外していないので、担任の確認によって把握する。昨年度の報告があった内容としては、担任がそれに気が付かず、数日経ってから子供が担任のほうに悩みを伝えたということがあった。研修会の折には、使用した時には確実に確認するように指導をしている。

**【委員】**

東京都町田市で、他人になりすまして端末のメッセージ機能を使って書かれた悪口を苦にして自殺をしたという事例を新聞で見た。学校のタブレットのみだが、子供たちのほうが私たちより端末の扱いに慣れていて、親が分からないところでどんどんエスカレートすることを非常に危惧している。日光市でのロイロノートは先生とのやり取りが基本で、パスワードもそれぞれ違うようなので、非常に安心している。規制でがんじがらめにしてしまうのももったいないと思うが、誹謗中傷の対応などはきちんと指導していただきたい。

**【委員】**

はたちの集いの日光会場について、日光の会場だけ市の施設ではない。いつ頃まで田母沢御用邸を使用するのか。また、新年の3連休なので施設のイベントなどがあると思われるが、前もって予約をしているのか。

**【日光公民館長】**

はたちの集いの会場については、令和2年度末に日光総合会館が閉館し、代替の会場として田母沢御用邸を利用している。田母沢御用邸は式典会場として雰囲気が高く、新成人にも好評であった。今後、田母沢御用邸を継続的に利用するかは未定だが、前回、利用手続等で担当の方にも御迷惑をかけたので、早め早めの予約を心掛け、円滑に進めたい。

**【教育長】**

そのほか意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和4年7月22日、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室、8月の会議は令和4年8月25日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後4時32分に閉会

- 1 日 時 令和4年7月22日（金） 午後2時00分開会
- 2 場 所 日光市役所本庁舎3階大会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
 出席委員 委員 手塚美智雄  
 委員 池田由美子  
 委員 藤本亮純  
 委員 岸野紗生里
- 4 説明員 教育次長 和気一夫  
 学校教育課長 伊藤真由美  
 生涯学習課長 手塚克英  
 文化財課長 本間佳夫  
 スポーツ振興課長 鶴見英明  
 国体推進課長 竹澤勢津夫  
 中央公民館長 高梨一己  
 日光公民館長 常盤紀生  
 藤原公民館長 山本洋一  
 栗山公民館長 小松正明  
 足尾公民館長 上原晃  
 学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一
- 6 議 題  
 (1) 提出議案  
 議案第28号 日光市奨学金の貸付者について  
 議案第29号 日光小学校・清滝小学校・安良沢小学校の統廃合について  
 議案第30号 令和5年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について  
 議案第31号 日光市不登校適応指導教室管理及び運営に関する規則を廃止する規則の制定について  
 議案第32号 日光市指定有形文化財の指定解除について  
 議案第33号 日光市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

## 議案第34号 日光市文化会館運営審議会委員の委嘱について

### (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

ア 令和4年度県への要望活動について

イ 令和4年度とちぎっ子学習状況調査の結果について

ウ 令和3年度通学路安全点検状況について

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

①次会開催予定

日時：令和4年8月25日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和4年9月28日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

## 7 会議の概要

午後2時00分、開会を宣言し、速水委員より欠席の申出を報告した。

会議録の署名人に、池田・藤本両委員を指名した。

### 日程第一 前会会議録の承認

#### 【教育長】

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第28号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課】

#### 【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」1名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第28号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第29号 日光小学校・清滝小学校・安良沢小学校の統廃合についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【説明要旨】**

「日光小学校・清滝小学校・安良沢小学校の統廃合について」令和6年4月1日の3校の統合にあたり、統合の方針と経過等について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

令和6年4月の児童数・学級数の見込みの中で、特別支援学級の児童数が二人に対して、学級数が2学級ということ間違いはないか。

**【学校教育課副参事】**

種別が別であり、知的学級が1学級、情緒障害学級が1学級の予定である。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

日光小学校に全てを統合するという、最初の統合の方針からの変更であるが、その理由は。

**【学校教育課長】**

2校を統合してもまたすぐに少ない人数になってしまう。最初から日光小学校への統合ということ視野に入れた方がいいのではないかという意見があり、検討会の中で今回の方向性が決まった。

**【委員】**

小学校を統合するとなると一つの小学校に二つの中学校となる。今の状況では、中学校の統合が不透明な状況であるが、小学校の保護者は、その上で合意したのか。

**【学校教育課長】**

中学校の検討については、今の検討会の中で検討を進めることは難しいということを理解していただいている。新たな協議の場を設けた上で、検討を進めるということで了解いただいている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**



今から中学校の適正配置に向けた会議を進めても、令和6年までに結論を出すことは難しいのか。日光中学校は、現在残っている生徒だけの学校、あるいは休校となるのか。

【学校教育課長】

令和6年度に同時に統合できることが理想であり、早急にその検討を進めていく。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第29号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第30号 令和5年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「令和5年度使用小・中学校特別支援学級教科用図書の採択について」選定された教科用図書について説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第30号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第31号 日光市不登校適応指導教室管理及び運営に関する規則を廃止する規則の制定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市不登校適応指導教室管理及び運営に関する規則を廃止する規則の制定について」日光市不登校適応指導教室設置条例の廃止に伴う規則の廃止であることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第31号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第32号 日光市指定有形文化財の指定解除についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【文化財課長】

【説明要旨】

「日光市指定有形文化財の指定解除について」所有者から市域外への売買に伴う所在場所の変更の届出による、市の文化財の指定を解除であることを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第32号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第33号 日光市スポーツ推進審議会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【スポーツ振興課長】**

**【説明要旨】**

「日光市スポーツ推進審議会委員の委嘱について」任期満了に伴うものであることを説明した

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第33号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第34号 日光市文化会館運営審議会委員の委嘱についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【中央公民館長】**

**【説明要旨】**

「日光市文化会館運営審議会委員の委嘱について」任期満了に伴うものであることを説明した

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第34号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・熱中症の救急搬送について
- ・児童生徒の新型コロナウイルス感染状況について
- ・学校休みがちな児童生徒の調査報告について
- ・いじめ調査報告結果について

・教育支援センターの運営状況について

教職員関係

・校長との令和4年度当初面談の終了

市長部局関係

・まちづくり懇話会について

・国体推進課、生涯学習課等の関係事業について

【教育長】

説明終了後、質疑を求めた。

【委員】

先月からかなりの暑さが続き、実際に熱中症で緊急搬送という事例もある。

モニタリングの結果、エアコンのない学校が何校かある。各学校の実態を把握し、全校エアコン設置や網戸の設置など、何か方策を検討いただきたい。

【教育次長】

山間部の比較的寒冷な場所については、エアコンがない学校が何校かある。今年度についてはかなり暑い時期があり学校からの要望等により、学校教育課において対応を図っている。網戸については、国の補助事業で昨年、一昨年と、感染症対策用の備品や消耗品などの購入に使える補助金があり、各学校の校長の裁量によって大部分の学校で網戸が整備された状況である。

【教育長】

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告

【教育次長】

【報告要旨】

・令和4年度県への要望活動について、学校教育課3件、文化財課2件の要望内容について報告した。

【学校教育課副参事】

【報告要旨】

・とちぎっ子学習状況調査結果について、分析結果を交えて報告した。

【学校教育課長】

【報告要旨】

・令和3年度通学路安全点検状況について、対策事例を交えて報告した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めた。

【委員】

とちぎっ子学習状況調査について、以前、学力調査とかの出題する側がある程度達成度、

とってほしい平均点を考えたとき、6割程度で作成する、というような話があった。今回の資料を見ると、例えば小学校の算数は75で、中学校の理科だと50、これが同じように同程度という括り、そして小学校4年の国語になってくると65でやや低い、となっている。結局、県との平均で低いか同じ程度かという判断だが、子供たちの学力を見るのに、平均点に比べて低いとか高いとかという評価になっているのはどうなのか。例えば小学校の算数は同程度だが75点も取っていてすごい、よく頑張っていると、そういう評価にはならないのか。

**【学校教育副参事】**

あくまでも目安であり、相対で考えたものである。校内での学力調査は6割ということで作成をしている教員が多い。県の各教科について、どの程度の目安で作成しているのか把握できないが、恐らく小学校だと7割8割、中学校だと6割とか、県の平均を目安として出している。今後この研究にも、どのような達成度かということを確認しながら、分析を進めいく。

**【教育長】**

今年度、随分差を縮めたが、まだマイナスのところがある。それぞれの単元のところでの課題もある。今後、学校教育課の指導でしっかり学校への支援、助言、あるいはいろいろなことを徹底し、お願いしていく。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

令和3年度通学路安全点検状況についての報告で、四つの工事が済んでいる。これについての対策効果や学校の意見を聞いていれば教えていただきたい。

**【学校教育課長】**

通学路安全点検状況については、毎年、7月から8月にかけて点検している。その上で、8月に結果をまとめ、来年度に向けて同じ点検を秋くらいには行う予定である。今後、対策の効果も含めて検証していくことになる。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

とちぎっ子学習状況調査の結果について、分析結果で基礎的な内容の定着が少し低いという話の中で、自分がしてきた昔のことと、自分の子供のことを考えてみたときに、圧倒的に国語に関して言えば漢字の練習をする機会がすごく少ないような気がする。また、デジタル教科書とか、iPadで検索すれば漢字なんて書けなくていいのではないか、というようなこともあるのかもしれない。

基礎的なものを宿題として毎日出すような指導が可能なのか。また、自主学習や家庭学習の内容も自分で考えて、ということだが、小学生でも自主的に自分で考えて、いろいろ

やるというのはかなり難しい。先生方の負担が増えるかもしれないが、計算プリントや漢字プリントなどを自由に取れるように、教育委員会で用意することは難しいのか。

**【学校教育課副参事】**

今回のとちぎっ子学習状況調査の結果で、学校ごとの結果も教育委員会は把握している。結果の高い学校にインタビューを行ったところ、家庭学習にかなり力を入れていた。この学校の取組を通信にまとめ、1学期の終わりに全校に配布した。今後も良い取組を学校に周知していきたい。

**【教育長】**

教育委員会では、補助プリントなどを用意することはできない。今回は市全体の分析結果なので、例えば基礎基本の非常に低い学校もあり、そのような学校には、今言ったように訓練的な指導とか、積み重ねをするというものも必要である。また、基礎基本が高い学校は、違った応用問題が解けるような、レベルの違う授業展開とか、その学校によって課題が違うので、教育委員会が各学校の結果分析し、その分析に応じて指導主事が支援、助言をしていく方法をとっていきたい。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、令和4年8月25日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、9月の会議は令和4年9月28日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後3時02分に閉会

- 1 日 時 令和4年8月25日(木) 午後2時00分開会
- 2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希  
委員 岸野紗生里
- 4 説明員 教育次長 和気一夫  
学校教育課長 伊藤真由美  
生涯学習課長 手塚克英  
文化財課長 本間佳夫  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 高梨一己  
日光公民館長 常盤紀生  
栗山公民館長 小松正明  
足尾公民館長 上原晃  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第35号 日光市奨学金の貸付者について  
  
(2) 報告事項  
①教育長からの報告  
②事務局からの報告  
ア 令和5年度奨学生の募集について  
イ 令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和4年9月28日（水）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和4年10月28日（金）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

午後2時00分、開会を宣言し、会議録の署名人に、藤本・速水両委員を指名した。

日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第35号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」1名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第35号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

【教育長】

【報告要旨】

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

・今日から2学期開始

・学校休みがちな児童生徒の調査報告について

- ・いじめ調査報告結果について
- ・教育支援センターの運営状況について

#### 教職員関係

- ・夏季休業中の研修実施状況について

#### 市長部局関係

- ・9月定例議会について

#### その他

- ・下司愉宇起先生のピアノ寄贈記念の熊本マリ先生のコンサートを開催

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

#### (2) 事務局からの報告

#### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

・令和5年度奨学生の募集について、令和4年10月1日から来年度の奨学生募集を開始する旨報告した。

#### 【学校教育課副参事】

#### 【報告要旨】

・令和4年度全国学力・学習状況調査の結果について、分析結果を交えて報告した。

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めた。

#### 【委員】

奨学金の件だが、今年は簡易版を作り、国とか県も一緒に載せるということで非常に分かりやすいと思うが、どういう場面でどういう方に渡すのか。

#### 【学校教育課長】

様々な場面を検討している。中学生とか、一般のご家庭など、なるべく多くの方に届くように、配布する。募集要項は、内容にボリュームがあり見てもピンとこない。

今回のチラシは、奨学金制度というのは市の制度だけではなく、様々な制度がある。国の制度、県の制度、色んな制度の中から自分に合ったものを選んでくださいというような周知になる。国、県の制度は、市のものよりもかなり手厚いものが多い。例えば、給付型であるとか。そういったこともある中で、国や県の要件には該当しないような方、ある程度収入がある方などが市の奨学金を利用するというのが現状。奨学金の全体が見えて、広く皆さんに知っていただくという趣旨で、今回、委員の皆様の意見を基に、作成予定である。

#### 【委員】

入口として活用し、そこから自分に合ったものを選んでいただきたい。



もう1点、日光市に5年定住すると3分の1返さなくていいという制度について、これは、高校生は適用されないのか。

**【教育次長】**

返済免除に関しては、日光市への定住を視野に入れた話になる。高校生に関しては、そのまま就職する方もいるが、その先の大学進学する際に県外に出る方が日光市では多く、その方たちが戻ってきて日光市に定住した上で就労していただくということが目的になる。そのため、対象は、大学生、専門学生となる。

**【委員】**

高校生から奨学金を活用する方は、大学から使う方よりも厳しい方が使うと思う。そうすると大学に行かないというパターンも多いと思う。そういう方が返さなくていいという制度から除外されてしまうのは、制度の趣旨からすると、どうなのかなと思う。

**【教育次長】**

学校教育課長から説明があったように、それぞれの方に合った奨学金が選択できる。基本的には国、県の制度のほうが手厚く、給付型の奨学金で、返さなくていいというようなものは国が制度として実際にやっている。その代わりに、奨学金を借りられる条件が厳しくなる。簡単に言うと、所得がかなり低い方向けの制度は本来国がやっている制度、さらにもう少し緩いのが県の制度、そういうところでも借りられない方を補完する意味合いとして市の制度を設けている。所得的に厳しくて大学進学まで至らない、なかなか難しいという方は、通常であれば国の制度、給付型などが受けられると考えている。もう少し自由度が高い、進学を目指しているような方たちに対する市の制度としての補完の意味合い、さらに定住というものを含めて考えているのがこの返済免除制度ということになる。

**【委員】**

厳しい人は国の給付型を受けているのではないかということで理解した。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

コロナウイルス感染症の報告について、事務局の方からその日その日にメールなどで報告をいただいている。場合によっては、学校で2学期が始まってから、そのあたりの業務の対応が大変な場合が出てくると思われる。今まで教育委員会では学校の現場で働いている先生方の働き方改革について色々と議論してきたが、事務局の方々の働き方改革も考えていただきたい。緊急の場合であるので、場合によっては通常業務を削減していった、内容を精査しながら余裕を持って仕事にあたっていただきたい。

**【教育次長】**

コロナウイルス感染症の報告の現状として、細かく今日は何人出たと、内容については以前よりも縮小させていただいているが、実は教育委員の皆様だけで、以前は市議会も全て同じように報告をしていたが、現在市議会のほうでは、学校の休業とか、対策、対応が必要なときだけ報告するかたちをとっている。今のやり方について、もし可能であれば市議会と同じようなかたちの対応を検討させていただければ非常にありがたい。それと今、国で全数把握というものをどうしようかということで、条件も限られたかたちにもなるが、栃木県がもし全数把握をやらなくなれば、改めてこちらとしても対応を考えなければならないと思うが、市教委としては学校とのやり取りをする中で、学校の休業についてどうするかを連携して相談しながらやっていくかたちを考えると、市教委としてもある程度の方法は把握しておかなくてはいけないという立場になる。そのあたりを把握しながらも委員への報告については、若干変えていくということを提案いただけるのであれば、ありがたい話として、検討させていただく。

**【教育長】**

少し検討させていただいて、負担を軽減していければと思う。

**【教育長】**

そのほか提案事項を求めた。

**【委員】**

不登校の話について、コロナ関係、熱中症とか本当に先生方、大変だと思うが、支援センターではなくて学校の保健室登校とか、相談室登校とかで何とか学校に顔が出せるという生徒が、今までの相談員さんがいて常時開けられていた時と違って相談室が開けられていないので、例えば午前中の2、3、4時間目と言われると、どうしても午後行きたいという生徒が行けないという実情があるというのを聞いた。それでもやはり、先生方が誰かいないければ、色々危険を伴うので開けておくことは不可能だと思うが、そういうところを改善できるようなボランティアとか、相談室がもう少し自由に開けられるような状況が作れないかと思うので、提案したい。

**【学校教育課副参事】**

現状、支援員が小学校にいるが、中学校にはいないとか、余剰の人員がないようなところがある。県が来年度に向けて支援員を拡充するといった情報もあるので、そのような配置がされた場合に対応ができるかとか、学校の職員が対応できない時には、教育支援センターの教育相談員が相談室の見守りを一緒に行うとか、そういった対応もできるかと思う。事務局内で相談し、学校のほうに伝えていければと考えている。

**【教育長】**

そのほか提案事項を求めた。

**【委員】**

全国学力調査の資料の、最後のページの具体策について、先月のとちぎっ子学習調査と、4項目とも一緒だと思うが、これはとても良いと思うので強化して進めてほしい。

**【教育長】**

なんとか、学力アップしていきたいと思う。多少伸びは見られるが、全国、県と比較するとどうしても低いという結果。経年で見ますと若干上がっている教科もあるので、さらにアップしていきたいと思う。

**【教育長】**

そのほか提案事項を求めた。

**【委員】**

部活動の指導について、外部への移行を進めていくことになっているが、実際、日光市としては候補があるのか、進捗状況を教えていただきたい。

**【学校教育課副参事】**

現在、学校にすでに派遣されている外部指導者への謝金の申請はあるが、部活動指導員というかたちで、例えば先生の代わりに大会を引率するといったことは今年度もまだ導入ができていない。先日、校長会でも伝えたが、来年度以降、部活動の種目に入り、どんな状況か、指導者がいるのか、というようなことをまずは調査し、地域移行が出来ている部活から進めていきたいと考えている。国も、令和5年度から7年のうちが強化ということなので、来年度、人材がいる部活動から段階的になることを学校には示した。

**【委員】**

学校単位で推薦してもらうのか。

**【学校教育課副参事】**

種目ごとに部会があるので、まずは種目の中で情報収集する予定。学校単位でチームが組めない部活が結構あり、学校単位が難しくなっている状況もある。種目によって学校単位のところもあれば、学校の域を超えて、というような部活動の在り方、地域で一つというような種目もあるので、種目ごとに対応を考えていく。

**【委員】**

例えばフィールドホッケーやアイスホッケーなど、元からクラブチームみたいなものもあると思う。そういうのは外部指導者に移管しやすいのかなと思うが、そうするとだんだん部活というよりクラブチームのような感じになっていくのか。

**【学校教育課副参事】**

国としては、土日の部活動を地域移行していくということなので、そこまではっきりしていない。日光市の現状として受け皿がある種目はそういうふうな、クラブチーム的な活動になるのか、それとも土日だけ指導者にお願いするのか、というのもまだこれから、現場の状況を見てからということではっきりはしていない。

**【教育長】**

今、話が出たように、教師の部活動指導の負担を軽減するために土日に地域の方に指導をお願いできないかということで、方法を練っている。学校に任せてできるものばかりではないというのが現状だと思うので、市教委が入って、専門部、競技ごとに状況を把握しながら、進め方を検討し、進められるところから進めるというような段取りになる。具体的には、今年の7月に県としての方針を出すということで聞いていたが、実際に7月には

出なく、まだ県から方針が示されていない。本来なら、そこを踏まえて動きたいところだが、少し早めに校長先生にも情報提供をしているという段階である。

【教育長】

そのほか提案事項を求めたが提案事項はなかった。

日程第五 その他

【教育長】

次会の会議は、令和4年9月28日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、10月の会議は令和4年10月28日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時41分に閉会

1 日 時 令和4年9月28日（水） 午後2時00分開会

2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希  
委員 岸野紗生里

4 説明員	教育次長	和 気 一 夫
	学校教育課長	伊 藤 真由美
	生涯学習課長	手 塚 克 英
	文化財課長	本 間 佳 夫
	スポーツ振興課長	鶴 見 英 明
	中央公民館長	高 梨 一 己
	日光公民館長	常 盤 紀 生
	藤原公民館長	山 本 洋 一
	栗山公民館長	小 松 正 明
	足尾公民館長	上 原 晃
	学校教育課副参事兼教育指導係長	鈴 木 久 子

5 書 記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金 子 憲 一

## 6 議 題

### (1) 提出議案

議案第36号 令和4年度日光市教育委員会表彰について

議案第37号 日光市立図書館協議会委員の任命について

議案第38号 日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館協議会委員の任命について

### (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

- ア 「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」改定骨子について
- イ 令和5年日光市はたちの集いについて
- ウ 日光市民文化祭について
- エ 読書通帳の作成について

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

#### ①次会開催予定

日時：令和4年10月28日（金）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和4年11月24日（木）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室

## 7 会議の概要

午後2時00分、開会を宣言し、会議録の署名人に、速水・岸野両委員を指名した。

### 日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第36号 令和4年度日光市教育委員会表彰についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

#### 【説明要旨】

「令和4年度日光市教育委員会表彰について」現在までに106件の推薦があったことを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第36号は、原案どおり承認した。

#### 【教育長】

議案第37号 日光市立図書館協議会委員の任命についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【生涯学習課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立図書館協議会委員の任命について」令和4年度の委嘱委員について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第37号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第38号 日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館協議会委員の任命についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【文化財課長】**

**【説明要旨】**

「日光市歴史民俗資料館・二宮尊徳記念館協議会委員の任命について」令和4年度の委嘱委員について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第38号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・小中学校修学旅行実施状況
- ・学校休みがちな児童生徒数の調査報告について
- ・いじめ調査報告結果について
- ・教育支援センターの運営状況について

教職員関係

- ・県教育委員会表彰

市長部局関係

- ・9月定例議会の教育委員会関係一般質問について

その他

- ・寄付金贈呈式
- ・国体出場の中高生へ激励金の贈呈

- ・平和学習映画上映、講演について
- ・国体開催について
- ・地区教育委員会連合会総会日程について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告

**【学校教育課長】**

**【報告要旨】**

- ・「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方」改定骨子について、改定骨子の内容および適正配置実施の流れについて報告した。

**【生涯学習課長】**

**【報告要旨】**

- ・令和5年日光市はたちの集いについて、実施内容、周知方法を報告した。

**【生涯学習課長】**

**【報告要旨】**

- ・日光市民文化祭について、事業内容等を報告した。

**【生涯学習課長】**

**【報告要旨】**

- ・読書通帳の作成について報告した。

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

読書通帳に記録するのは、図書館で借りた本だけなのか。

**【生涯学習課長】**

図書館で借りた本に限っている訳ではない。自分で読んだ本について記録を付けて達成感を味わい、習慣づけに繋がってもらいたい。

**【委員】**

60冊読むと最終ページの表彰状にたどり着く仕組みは達成感があっていいと思うが、図書カードなどのインセンティブがあると、さらなる読書活動の推進に繋がるのではないかと。

**【生涯学習課長】**



現時点においてインセンティブは想定していないが、表彰式のようなイベントを検討していきたい。

**【委員】**

表彰式のようなイベントで十分かと思う。

**【委員】**

読書通帳の配布対象は希望者のみとなっているが、できれば全員に配布して同じような読書意欲が持てるようにしてほしい。人数的にかなり多くなるが、可能であれば次年度あたりから考慮してほしい。

**【生涯学習課長】**

当初は小学生全員への配布を想定していたが、検討過程において、読んだ本について記入したものを他人に見られるということを気にする子供たちや保護者がいるのではないかと、全員へ配布した際にどう受け止めるのだろうかという話があり、希望者への配布という対応になった。500冊しか配らないという訳ではなく、多くの子供たちに本を読んでもらいたいという視点から配布を実施したいと考えている。

**【委員】**

学校図書館では配布をしないのか。

**【生涯学習課長】**

小学校からの希望があれば、可能な範囲でお知らせをしたい。資料に記載はしていなかったが、協議して対応していきたい。

**【委員】**

学校図書館には担当の先生が選んだ様々な本があるが、なかなか子供全体に利用されていない。読書通帳のような素晴らしい取組は、図書館だけでなく学校図書館の利用促進にも役立つかと思うので、希望者だけでなく全小学校の担当の先生の協力を仰ぎ、子供に投げかけをしてもらえればと思う。

どんな本を読んでいるかというのが個人情報でもあるしトラブルの原因になるかもしれないが、子供たちには自分が読んだ本に自信を持ってほしいし、周りも素直に賞賛することが学校の指導でも役立つと思うので、そのような意味でも協力要請してほしいと思う。

**【生涯学習課長】**

学校図書館の利用促進については学校教育課と協力しながら、生涯学習課として前向きに考えていきたいと思う。全員への配布については検討課題ということで、難しいのが現状だが、まずは多くの方に希望してもらえるようなかたちで進めて、ゆくゆくは全員の子供たちに行き渡るように努めていきたい。

**【委員】**

周知方法について、広報誌を見ない家庭や図書館に行かない家庭もあるかと思うので、学校でプリントを配布したり、移動図書館の職員から説明をして希望者に配布したりするとういと思う。

**【生涯学習課長】**

学校でのプリント配布については、学校教育課と連携して可能な範囲で分かりやすく周知していきたい。移動図書館については、今話があったとおり対面での対応の中で説明できればということを図書館に話したい。

**【委員】**

学校の適正配置の資料について、検討基準の対応という欄があるが、上段の、学校統廃合等の適否について検討を開始するというのと、下段の、児童生徒数の動向に注視しつつ学校統廃合等の適否について検討するという表記は、どちらも検討するということだと思うが、この二つの言葉の意味合いが分からない。

**【学校教育課長】**

まず上段については、複式学級編成であるので直ちに検討を開始するということになるが、下段については単学級になることが将来見込まれていれば、実際の児童生徒数の推移というのが関わってくるということになるので、まずそこを注視した上で、その減少率であるとか状況を加味して検討の適否を考えるということになる。緊急であって直ちにとということと、ある程度の今後の見通しを踏まえた上でといったニュアンスの違いである。

**【委員】**

下段は、検討の適否について考える、検討するかしないかを考えるということか。

**【教育次長】**

上段の複式学級の場合、もう既に単学級になっていた上でさらに複式学級の要件に該当するということになる。単学級の場合、複式学級には至らなくとも1学年に2学級以上が構成できないという状況であり、今後の動向を踏まえてまずは注意して見ていくという段階になる。その中で例えばまだ複式学級になっていないにしても、その前に対応すべきことにこともあり得ると思うので、このような表現にさせていただいた。

**【委員】**

改定した後の取組がいつからなされるのかという点について、今まで統廃合を進めていた中で、ある程度担当の方が考えていた流れに進んだところもあれば、違うかたちで落ち着いたところもあるかと思う。そうなった時に通学方法や色んな面で課題が見えてくるかもしれないので、今年度すぐ始めるというよりはある程度時間を空けた上で、次はこういかたちで進めるというのを示したほうが関係者の意見交換などもより内容の濃いものが出てくると思うが、そのあたりはどうか。

**【学校教育課長】**

どこの学校を対象として検討を始めるかという基準がこの改定骨子であり、この考え方で進めていかどうかということについて教育委員の皆様にご審議いただくということになる。その後市議会の御意見なども踏まえて、この考え方で適正配置を進めていかどうかをできれば本年中には決めたいと思っている。御承認をいただけたら、早い時期から配置の流れの案に沿った手順で各対象校を選定して、早急に検討を始めたいと考えている。

**【齋藤教育長】**

そのほか質疑を求めたが、質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

##### 【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

##### 【委員】

議案36号について、模範児童生徒の中に栗山中学校の生徒が入っていないのは、中学3年生が二人だけの学校なので校長先生が選びにくいと想像したが、なぜか。

##### 【学校教育課長】

現段階において学校長からの推薦が上がってきていないため、検討中という途中経過である。

##### 【委員】

小規模校からは一人となっているが、栗山中学校は今年度をもって閉校になるので、二人の中から選びにくいのであれば特例で二人とも選んでいただくということはできないか。

##### 【学校教育課長】

教育委員会として判断するものではなく、基準に応じて学校長が判断し推薦するため、今ここで適否についての回答は難しい。基本の目安としては1クラスにつき1名程度の推薦となっている。

##### 【教育次長】

手続として本来ならば校長の推薦を得た上で、教育委員会会議に諮ってこの場で決めるということになる。各学校から一人というのは目安であって、一人でないといけないということではない。学校から推薦が上がってくればこの場に諮った上で委員に決めていただくということになるので、そのような提案があったということを学校教育課から栗山中学校にお伝えするというところでどうか。

##### 【委員】

是非お願いしたい。

##### 【教育長】

そのほか提案事項を求めたが提案事項はなかった。

#### 日程第五 その他

生涯学習課から日光市地域学校連携研修会の講演会参加者募集の通知を配布、学校教育課から令和4年度日光市立小中学校日光の教育を考える日の通知、教育要覧、奨学金チラシを配布し、それに対しての説明を行った。

##### 【教育長】

次会の会議は、令和4年10月28日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、11月の会議は令和4年11月24日、午後3時00分から日光市役所本庁舎3

階大会議室で行うことを確認した。

午後 3 時 4 分に閉会

# 令和4年第10回日光市教育委員会会議録

ホームページ公開用

- 1 日 時 令和4年10月28日（金） 午後2時00分開会
- 2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室
- 3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希  
委員 岸野紗生里
- 4 説明員 教育次長 和気一夫  
学校教育課長 伊藤真由美  
生涯学習課長 手塚克英  
文化財課長 本間佳夫  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 高梨一己  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 山本洋一  
栗山公民館長 小松正明  
足尾公民館長 上原晃  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子
- 5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一
- 6 議 題  
(1) 提出議案  
議案第39号 令和4年度日光市教育委員会表彰について  
  
(2) 報告事項  
①教育長からの報告  
②事務局からの報告  
ア 学校医の一部変更について

## イ 学校運営協議会制度導入に向けた進捗状況について

### (3) 教育委員からの提案事項

### (4) その他

#### ①次会開催予定

日時：令和4年11月24日（木）午後3時00分

場所：日光市役所本庁舎3階大会議室

日時：令和4年12月22日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

## 7 会議の概要

午後2時00分、開会を宣言し、会議録の署名人に、手塚・岸野両委員を指名した。

### 日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

### 日程第二 審議事項

#### 【教育長】

議案第39号 令和4年度日光市教育委員会表彰についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

#### 【学校教育課長】

#### 【説明要旨】

「令和4年度日光市教育委員会表彰について」追加申請及び取下げがあり、合計121件の推薦があったことを説明した。

#### 【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第39号は、原案どおり承認した。

### 日程第三 報告事項

#### (1) 教育長からの報告

#### 【教育長】

#### 【報告要旨】

各学校の様子等について

#### 児童生徒の様子から

- ・学校関係者新型コロナウイルス感染状況について
- ・学校休みがちな児童生徒数の調査報告について
- ・いじめ調査報告結果について
- ・教育支援センターの運営状況について

#### 教職員関係

- ・校長との異動懇談開始

#### その他

- ・第17回市スポーツ少年団新人剣道交流大会開催
- ・第7回全日本中学生女子軟式野球大会優勝メンバー市長表敬訪問
- ・今市地区小学生陸上競技大会開催
- ・杉大まつり受講生の作品展開催

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

#### (2) 事務局からの報告

#### 【学校教育課長】

#### 【報告要旨】

・学校医の一部変更について、8月1日付で学校医の変更があったことについて報告した。

#### 【生涯学習課長】

#### 【報告要旨】

・学校運営協議会制度導入に向けた進捗状況について、制度の概要、これまでの経緯、今後の取組について報告した。

#### 【教育長】

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

#### 日程第四 教育委員からの提案事項

#### 【教育長】

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

#### 日程第五 その他

学校教育課から令和4年度卒業式及び令和5年度入学式の教育委員の来賓としての出席の見送りについて、生涯学習課から読書通帳について、国体推進課から国体本大会の終了について報告した。

**【教育長】**

次会の会議は、11月の会議は令和4年11月24日、午後3時00分から日光市役所本庁舎3階大会議室、12月の会議は令和4年12月22日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時24分に閉会



1 日 時 令和4年11月24日（木） 午後3時00分開会

2 場 所 日光市役所本庁舎3階大会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希  
委員 岸野紗生里

4 説明員 教育次長 和気一夫  
学校教育課長 伊藤真由美  
生涯学習課長 手塚克英  
文化財課長 本間佳夫  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
国体推進課長 竹澤勢津夫  
中央公民館長 高梨一己  
日光公民館長 常盤紀生  
栗山公民館長 小松正明  
足尾公民館長 上原晃  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子

5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一

## 6 議 題

### (1) 提出議案

議案第40号 日光市奨学金の貸付者について

議案第41号 教育財産の用途廃止について

議案第42号 日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方の改定について

### (2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和4年12月22日（木）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

日時：令和5年1月26日（木）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

7 会議の概要

午後3時00分、開会を宣言し、会議録の署名人に、手塚・池田両委員を指名した。

日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第40号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」令和4年度、令和5年度分それぞれ1名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第40号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第41号 教育財産の用途廃止についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「教育財産の用途廃止について」旧学校施設について教育財産としての用途を廃止し、市長への引継ぎを行うこと及び必要に応じて引き続き教育委員会が補助執行のかたちで旧学校施設の管理及び処分を行うことを説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

旧野口小については利活用事業者の名前が載っていて、他の学校は載っていないが、まだ提案がないということか。

**【学校教育課長】**

野口小については事業者が決定しており、資料のとおり利活用が決まっている。先日、旧小百小についての提案の会議が行われたが、決定には至っていない。ほかの学校に関しては、利活用事業者としての選定に至っていないということになる。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第41号は、原案どおり承認した。

**【教育長】**

議案第42号 日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方の改定についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

**【学校教育課長】**

**【説明要旨】**

「日光市立小中学校の適正配置に向けた基本的な考え方の改定について」改定に至る経緯、改定の内容等について説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

意見交換会のメンバーについて、教育委員会として意見交換会に必ず参加していただきたい方を事前に選任をした上で、第1回の意見交換会は説明会的なものということで広く住民の方に御参加いただいて、2回目以降は参加される方を絞るとということか。

**【学校教育課長】**

まず1回目は説明会のようなかたちで行うが、その前段で教育委員会会議において、参加してもらう必要があるメンバーについて検討する。1回目は市民の広い意見を求めるために参加者を特定せず、2回目からの意見交換会はメンバーを絞ったかたちで開催していきたいと考えている。

**【教育次長】**

必ずしもメンバーを絞るとは限らないと考えている。教育委員会会議の中で、必ず参加してもらったほうが良い方を決めて、その方も含め1回目の意見交換会は説明会のようなかたちで地域の住民を含めて行い、その中で2回目以降のメンバーについて決めていただく際に、集まった方全員で2回目以降も行うということが決まればそれもあり得る。基本的には必ず参加していただく方々をベースにして、もう少しオープンなかたちで意見交換

をしていくというような方向性になっている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第42号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子から

- ・新型コロナウイルス感染による休業状況について
- ・教育支援センターの運営状況について

教職員関係

- ・年度末退職予定教職員数について
- ・異動事務進捗状況について
- ・校長との異動懇談終了について

その他

- ・「日光の教育を考える日」について
- ・各課の主な実施事業、関連事業について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めた。

**【委員】**

適正配置について、11月の広報と同時期に日光小、清滝小、安良沢小の統廃合に関する回覧があり、住民に広く周知する意味でもありがたい取組だと思った。丁寧な説明をするために今後も是非続けてほしい。学校教育課に、市民からの意見や質問は来ているのか。

**【学校教育課長】**

適正配置だよりはこれまでも作成してきており、今後も広く周知を進めていきたい。意見については来っていない。

**【委員】**

教育功労等表彰式に出席して感じたことだが、大勢の名前を読み上げてからまとめて起立するのではなく、名前を呼ばれた時に起立するようにしたほうが、どの賞が誰だかわかると思った。また、市長、教育長との集合写真があると、児童生徒の記念になり、励みになるのではないかと思った。受賞者への連絡の時期について、保護者の休みが取りにくいということを知ったので、10月初めごろまでに通知をしたほうが、都合が付きやすいと思うので、検討いただきたい。

#### 【学校教育課長】

今回の開催に向けて検討していきたい。集合写真についてコロナ前は実施していた。今回出てきた課題も含め、検討する。連絡の時期について、直前の教育委員会会議まで追加の案件が出て、会議の日程も遅かったため、通知が遅くなった。今回は、日程、連絡の方法等について、なるべく多くの方に参加していただけるように工夫して、今後活かしていきたい。

#### 【教育長】

そのほか意見を求めた。

#### 【委員】

不登校生徒の進路について、一般の生徒は願書を提出して高校受験がそろそろという生徒もいるという話だが、不登校生徒の保護者の気持ちと先生方の事務的なものがうまく噛み合わなくて、不安に思う保護者もいる。早めに準備ができるように、より配慮した指導をするように学校に話してもらいたい。

#### 【教育長】

前回の校長会において、不登校の子供たちへの進路指導については、間際になって急かすような言い方はせず、早めに接触をして丁寧に相談するよう話をした。

#### 【学校教育課副参事】

不登校担当も教務主任会のほうで不登校関係の話をしている。教育相談員が各校を回っているときに学校担当と話をしているので、教育支援センターでも話題にして、配慮を個別にしていくように進めたい。

#### 日程第五 その他

#### 【教育長】

次会の会議は、12月の会議は令和4年12月22日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室、1月の会議は令和5年1月26日、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室で行うことを確認した。

午後3時34分に閉会

令和4年第12回日光市教育委員会会議録

1 日 時 令和4年12月22日（木） 午後2時00分開会

2 場 所 日光市役所東庁舎3階第4会議室

3 出席者 教育長 齋藤孝雄  
出席委員 委員 手塚美智雄  
委員 池田由美子  
委員 藤本亮純  
委員 速水茂希

4 説明員 教育次長 和気一夫  
学校教育課長 伊藤真由美  
生涯学習課長 手塚克英  
文化財課長 本間佳夫  
スポーツ振興課長 鶴見英明  
中央公民館長 高梨一己  
日光公民館長 常盤紀生  
藤原公民館長 山本洋一  
栗山公民館長 小松正明  
足尾公民館長 上原晃  
学校教育課副参事兼教育指導係長 鈴木久子

5 書記 学校教育課課長補佐兼教育総務係長 金子憲一

6 議 題

(1) 提出議案

議案第43号 日光市奨学金の貸付者について

議案第44号 令和4年度（令和3年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書について

(2) 報告事項

①教育長からの報告

②事務局からの報告

(3) 教育委員からの提案事項

(4) その他

①次会開催予定

日時：令和5年1月26日（木）午後2時00分

場所：日光市役所本庁舎2階202会議室

日時：令和5年2月28日（火）午後2時00分

場所：日光市役所東庁舎3階第4会議室

7 会議の概要

午後2時00分、開会を宣言し、岸野委員が欠席の旨を報告した。会議録の署名人に、池田・藤本両委員を指名した。

日程第一 前会会議録の承認

前会会議録を確認し、承認を得た。また、会議の概要をホームページで公開することの確認を得た。

日程第二 審議事項

【教育長】

議案第43号 日光市奨学金の貸付者についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「日光市奨学金の貸付者について」令和4年度分として1名の申請があり、必要書類が提出され、要件も認定基準を満たしていることを説明した。

【教育長】

説明終了後、質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第43号は、原案どおり承認した。

【教育長】

議案第44号 令和4年度（令和3年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書についてを議題とし、事務局の説明を求めた。

【学校教育課長】

【説明要旨】

「令和4年度（令和3年度事業対象）日光市教育委員会事務点検・評価報告書について」報告書の構成と、外部点検・評価の対象5事業について外部評価委員から出た意見・提言、今後の方策を説明した。

**【教育長】**

説明終了後、質疑を求めた。

**【委員】**

奨学金償還免除制度について、制度制定時に想定した人数の34%が対象となったとあるが、当初想定した利用人数は何人なのか。

**【学校教育課長】**

返済開始する40名全員がこの制度を利用すると想定したが、そのうちの34%、14名から申請があった。

**【委員】**

40名全員が利用すると想定したということか。

**【学校教育課長】**

そのようになる。

**【委員】**

5年間定住しないと権利が発生しないため、対象者が今後増えていく見込みであるという考えでいいのか。例えば40名のなかから新たに増えることはないということか。

**【学校教育課長】**

未申請の方がいる可能性があるため、ないとは言えない。

**【委員】**

例えば、途中から住み始めてもいいということか。

**【学校教育課長】**

そのとおりである。

**【委員】**

委員からの意見・提言のところに、悪用されないことを望むとあるが、この時の発言として具体的にどのようなことをされるとまずいというような話はあったか。

**【学校教育課長】**

住所要件に関して、本来住んでいないのに住民票をおいてあるだけなどの、悪用の想定の話が出た。

**【委員】**

私もすぐそれが思い浮かんだ。実家に住民票だけおいておくというパターンは十分考えられると思うが、何か確認はしていくのか。

**【学校教育課長】**

申請に来た方への、窓口においての住民登録の確認はもちろん、勤務先の確認、実態に合っているかどうか口頭での確認を行う。例えば県外に勤務先があれば通うのはどうなのかという疑問が出るので、通勤方法などの確認を行う。リモートでの勤務もあるので難しいところもあるが、できる限りの実態の確認をして住民登録の書面上だけでの審査はしないようにしている。

**【委員】**



定住してもらうのが一番いいと思うが、極端な話住民票があつて住民税などの納付があればいいという考えもあるかと思うが。

**【学校教育課長】**

悩ましいところではあるが、まずは住民基本台帳に登録があるということが大前提で、さらにプラスアルファと考えている。今の要件としては住民登録である。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めた。

**【委員】**

公民館教室わくわく探検隊の事業について、それぞれの地域の特性や時代の流れに合わせて取り組んでほしいと意見があるが、藤原公民館以外の他の公民館でも同じように児童生徒を対象とした教室などの実施はされているのか。

**【藤原公民館長】**

各地域においても子供を対象とした教室を実施しているかという質問でよろしいか。

**【委員】**

そうである。日光公民館、今市地区などでも同じように児童を対象とした事業などを実施しているのかどうかを確認したい。

**【足尾公民館長】**

栗山公民館と足尾公民館では、同じようなかたちで実施している。

**【委員】**

人数が多い地域では、実施は難しいのか。

**【中央公民館長】**

地域の特性や時代の流れに合わせた取組は特段行っていないが、今市公民館では年末に子供書初め教室を実施する予定であり、申し込みした方に先生が書初めの指導をするなど、色々な事業に取り組んでいるところである。今後はそれぞれの公民館の地域性に合わせた講座なども開催していければと考えている。

**【教育長】**

そのほか質疑を求めたが質疑はなく、委員各位の賛意確認後、議案第44号は、原案どおり承認した。

日程第三 報告事項

(1) 教育長からの報告

**【教育長】**

**【報告要旨】**

各学校の様子等について

児童生徒の様子

- ・新型コロナウイルス感染による休業状況について

- ・学校休みがちな児童生徒調査報告について
- ・いじめ調査結果について
- ・教育支援センターの運営状況について

教職員の様子

- ・人事異動事務進捗状況について

その他

- ・市長部局関係について
- ・日光市駅伝競走大会について

**【教育長】**

報告終了後、質疑を求めたが質疑はなかった。

(2) 事務局からの報告

日程第四 教育委員からの提案事項

**【教育長】**

教育委員からの提案事項について意見を求めたが、意見はなかった。

日程第五 その他

**【教育長】**

次会の会議は、1月の会議は令和5年1月26日、午後2時00分から日光市役所本庁舎2階202会議室、2月の会議は令和5年2月28日、午後2時00分から日光市役所東庁舎3階第4会議室で行うことを確認した。

午後2時28分に閉会